

青大豆の品種

あやみどり

「東山青 211 号」

長野県野菜花き試験場育成
(旧中信農業試験場育成)

だいた「あやみどり」は
良質で栽培しやすい青大豆です!!

県内で栽培されている「信濃青豆」や在来の青大豆は、ゆで豆(浸し豆)や黄粉の他、青色(緑色)を活かした色豆腐にも利用されていますが、倒伏、蔓化、枝折れやウイルス病などが発生しやすいといった栽培上の障害が問題となっていました。

このため、普通大豆のように栽培しやすく、色豆腐など特色ある加工製品に使える、良質な青大豆の新品種を育成しました。

「あやみどり」の特徴

1. 色大豆では珍しい長葉。
2. 主茎はやや短く着莢高が高く、枝折れなどの障害が少なく栽培しやすい。
3. ダイズモザイク病や紫斑病に強く、子実病害粒の発生が少なく良質。
4. 子実の種皮色とへそ色が緑色で、ゆで豆の外観が良い。
5. 淡緑色で甘味のある豆腐ができる。

表 「東山青211号」の特性

	成熟期 (月.日)	葉形	倒伏	蔓化	枝折れ	ウイルス	青立ち	主茎長 (cm)	着莢高 (cm)	子実重 (kg/a)	子実重 の比率 (%)	百粒重 (g)	臍色	紫斑粒	褐斑粒	品質	蛋白質 (%)
東山青211号	10.20	長	微	少	少	無	少	75	25	37.1	106	39.1	緑	無	無	上下	41.7
信濃青豆	10.14	円	微	少	中	無	少	78	17	35.1	100	37.9	黒	無	無	中上	41.5

平成16~19年の平均値(長野県中信農業試験場成績)

生育中の形態



信濃青豆

あやみどり

葉が丸い「信濃青豆」に比べ、葉が細長い「あやみどり」

「あやみどり」は「信濃青豆」より粒がやや大きく、種皮色、子葉色、臍色ともに緑色で、特に種皮色は「信濃青豆」に比べると、緑色が濃く鮮やか。

子実の形態



あやみどり

信濃青豆

「あやみどり」の豆腐



あやみどり(左)と普通大豆の豆腐(右)

「あやみどり」を豆腐に加工すると、淡緑色だが「信濃青豆」より緑色が濃く、甘味のある豆腐ができます。

※ 種子は当センター会員の全国農業協同組合連合会長野県本部及び各JA並びに長野県種苗生産販売協同組合各種苗店を通じ販売しております。

一般社団法人 長野県原種センター

長野市松代町大室2417-3
TEL 026-278-9229 FAX 026-278-9369